

八上校区 人権・同和教育研究大会

「違いを受け入れる
柔らかさを」

福祉部副部長 増岡 裕介

一月二十二日(日)、八上校区人権・同和教育研究大会が高城会館にて開催されました。講師として帝塚山大学大学院法政策研究科の中川幾郎先生をお迎えしました。

人と人の絆こそが社会の資源であり、東日本大震災の後の人々の冷静沈着さが世界中で称賛されたようにマナー・道徳・人権感覚も資源であること、政府要人や裁判官の問題発言、法律で定められているノルウェーの男女平等の例、名前あるいは顔がわかる面識社会の大切さ、挨拶運動による犯罪率の低下などいろいろなお話をいただきました。

人権がまちづくりに大切なのは、逃げるに逃げられない人間関係がコミュニティ型社会にあるからであり、抜き差しならない関係を大切にしてお互いの違いを受け入れる柔らかさを持つこと、「キヨリ」が密接になればなるほど相手を傷つけてしまうこともあり人権感覚が問われることなど、まちづくりと人権について考えさせられました。



八上校区人権・同和教育研究会

私たちは心の中のメガネを通して、人や物事を見たり、判断したりしていると思います。そのメガネは、文化、宗教、経験、教わったこと、あるいは正確ではない知識や情報・うわさによる思い込みなど様々でしょう。心のメガネの点検や修繕をして、私たち自身の人権感覚を高めていき



地籍図「八上上村」(左)「八上内村」、酒井さんと持参の品々に学ぶ

第二回 八上ふるさと塾

「八上上・内・下の
街道集落を考える」

池田 正男

一月二十九日(日)、高城会館に於いて、約五十名の受講者らにより開催されました。

明治六年作成の地籍図「八上上村」・「八上内村」各一枚が篠山歴史美術館に保存されています。

今回は、この地籍図を展示して、図に描かれた事柄と、現在の八上上・内・下集落の物知り人五名を講師に招き、京街道と集落、民家に伝承された、屋号や職業、集落の組織、祭礼・葬儀等伝統行事を話していただき、趣旨は、地籍図と講師の話の頭の中で組み立てて、理解してもらおうと考えました。

多くの方は、彩色された畳一枚程の図から、様々な情報を読み取るうと眺め、「重兵衛茶屋」の今昔について酒井のぶ子さん(八上内)持参の古文書等と軽妙な語り、多くの旅人が往来したことを学ばれたようです。

認知症講座 (かきくけこ)

福祉部長 河原 勇

二月十九日(日)、篠山市キャラバンメイトの方々に講師として、認知症講座が開かれました。

「あの人は認知症だ」とAさん。認知症という見方ではなく、Aさんという人の中に認知症という病気があるのだという認識を持つことの大切さをまず教わりました。認知症は誰もがかかる可能性のある病気ですが、認知症とはどんな病気なのか、認知症の症状にはどういったものがあるのかなどについて学び、また寸劇やグループでの話し合いを通して、認知症の方への具体的な接し方についても考えることができました。認知症は、適切な治療を行えば、症状軽減したり進行を遅らせたりすることが可能です。

昭和のふるさと

なつかしの「昔八上」を訪ねて・・・第三信

糯ヶ坪自治会長 大森 作之

今は昔、現在の神姫バス篠山営業所や中島の坪の新興住宅地がある京口橋南詰の広大な土地に「篠山観光ヘルスセンター」と云う温泉観光施設がありました。大きな産業の無かった篠山で、「観光都篠山の建設」をスローガンに、当時ブームに成りつつあった総合観光娯楽施設が建設されました。昭和三十七年十月一日にオープンをして、三十八年度中では、来場者数十六万七千人(一日約五百人)の大盛況を呈しました。

敷地面積は一三、〇〇〇坪もあり、収容可能人数二千名の豪華な施設でした。ラジウム温泉の大浴場が二つ、牛乳風呂・香水風呂・ネオン風呂にポーリング場・食堂名店街・演劇や歌謡ショウもありました。庭園には池があり、池の中島には動物園が開設され、象・虎・チンパンジー・カングルーから猪・狸・フラミンゴ・孔雀・インコ等までおりました。こうして開場後しばらくは大繁盛が続きましたが、あにはからんや急遽経営者トップ以下が篠山町の公金

とが可能だそうです。「物忘れがひどくなったなあ」と思ったらほっとかないで早めに病院で検査を受けること、また家族だけで抱え込まずに介護保険を利用してサービスを受けることなどのお話もありました。認知症の予防「かきくけこ」をご紹介します。

- 「か」：感動することをする。
- 「き」：興味を持つことを始める。
- 「く」：よくよしない。くよくよしなくても笑っても一日は同じ二十四時間。
- 「け」：健康を保つ。健康に気を付ける。
- 「こ」：恋心を持つ。家族、動物、野菜、花などに優しい気持ちを持つことだそうです。

を流用していたことが発覚し、昭和三十九年五月二十五日に多額負債を抱え閉鎖されました。その後しばらくは「篠山温泉」として更生を試みましたが、これも間もなく行き詰まりました。僅か一年八ヶ月のあつという間で、「真夏の夜の夢」の様な半世紀前の出来事でした。大きな禍根を残しながら閉鎖をしましたが、その年の十月には、東京オリピックが華々しく開幕されました。



篠山観光ヘルスセンター正面



ヘルスセンター全景・篠山川北側から

サークル紹介

高城俳句会

「俳句を始めませんか」

代表 細見 昇



受講者による寸劇

篠山市キャラバンメイトの先生方

最近参加された岸本泰明さん(80)の感想。「友達に誘われて入会しましたが小生の老化した脳にやささかの刺激を与え、感情豊かな日々が過ぎて会員相互の体験や考えに触れ楽しく研鑽させていただけるとろだと感じ入りました」

高城俳句会紹介

平成七年高城会館のサークル活動として、高城登山吟行会を会員を募集。幻鳥俳句会同人石田路郊・えつぐまもる氏等の師事を受け発足し、延べ十六名で現代まで十七年、今八名の会員。俳句は子規・虚子の花鳥風詠の伝統的現代俳句で、即物具象表現を大切にしています。

編集後記

● 広報誌『やかみ高城』の発行を年四回と定め、当協議会のイベント報告を主に紙面を作成してきました。創刊号から第六号まで通してみました。と、硬く、難しい文が多いと反省しています。このことを、次年度に活かしたいと考えています。

● 八上戦国ウォークに出陣された児童・保護者の甲冑をまとった集合写真が八上PTA広報部発行(平成二十四年三月)会報「たかしろ」に掲載されています。

● 丹波さき山校、「Mランドニュース」Vol.60、平成二十四年三月一日発行によると、運転免許を取るため、全国から篠山自動車教習所に来ている若人たちが、毎朝七時から約一時間、トイレ・自動車の学校内・近隣・洗車の清掃ボランティアで参加しているという記事がありました。

● トイレ清掃と、地域の方と触れ合える近隣清掃が人気とのこと、「ゴミと一緒に大切なものも拾われている」という結語は、傾聴に値すると共に、我々も美しい郷土を育みたいものです。

● 広報誌への掲載記事等をお寄せください。その他ご意見・ご提案もお待ちしております。

● メールアドレスは、(yakami-machiko@gaia.eonet.ne.jp) ● ホームページ(URL)は、(http://www.yakami-takashiro.jp) ● 八上校区まちづくり協議会 篠山市糯ヶ坪甲八十三番地一

例一 「寒いなあ、どないしよつてや、はや垣根の椿が咲いたなあ」

例二 「寒い寒い云うとるうちに 早小鳥が庭で歌いかけたなあ」

窓越しの小鳥さえずる春炬燵
こんな言葉遊びが出来たら楽しいですねえ。高城俳句会では、毎月二十五日に係(堀毛美代子)迄投句して、翌月の第一金曜日に一時半から会館で句会です。最近に始められた方も合わせて八人がメンバーです。次回は四月六日です、誰かを誘って一度覗いて見て下さい。 若い方も大歓迎です。(係 堀毛美代子 電話・FAX 五五二・三三〇九)